

令和5年度 助産師職能委員会 活動報告

■委員名

委員長：竹崎裕子

副委員長：峯岸美恵子

委員：赤松 薫 宿見めぐみ 大野美香 野牧弘子 足立 茜 都留美恵子
小谷真知子 長井亜矢子 牛越幸子 井上理恵子（令和5年9月まで）

■活動目標

1. 全世代型地域包括ケアシステム推進に向け他職種連携の構築を図る（母子のための地域包括ケアシステム推進を含む）
2. 助産師間ならびに他職種との連携を強化する

■委員会開催状況と検討内容

回	開催日	出席者	内容
1	令和5年4月7日	7名	・理事会報告 ・保健師助産師看護師合同職能集会について ・令和5年度活動計画について ・妊娠SOS相談事業及び特定妊婦居場所確保・自立支援事業連携会報告
2	令和5年5月19日	11名	・保健師助産師看護師合同職能集会について
3	令和5年7月8日	9名	・助産師職能委員会の日程 ・令和5年度活動計画について
4	令和5年8月26日 三職能合同交流会	9名	・理事会報告 ・保健師助産師看護師合同職能集会について ・保健師助産師看護師職能合同交流会
5	令和5年9月9日	10名	・全国助産師職能委員長会報告 ・保健師助産師交流会検討 ・助産師活用推進検討会報告 ・妊娠SOS相談事業及び特定妊婦居場所確保・自立支援事業連携会報告
6	令和5年10月14日	11名	・保健師助産師交流会の検討 ・看護ひょうごの原稿作成
7	令和5年11月10日	10名	・理事会報告 ・日本看護協会地区別助産師職能委員長会報告 ・看護ひょうごの原稿作成 ・令和6年度活動計画について
8	令和5年12月15日	9名	・理事会報告 ・令和5年度活動報告、令和6年度活動計画について ・保健師助産師交流会について
9	令和6年2月3日	11名	・保健師助産師交流会
10	令和6年2月16日	11名	・理事会報告 ・保健師助産師交流会について ・令和6年度活動計画について
11	令和6年3月15日	9名	・理事会報告 ・全国助産師職能委員長会報告 ・令和6年度活動計画について

■活動内容	1. 保健師助産師看護師合同職能集会 日 時：令和5年6月15日 9：30～12：00 場 所：兵庫県看護協会会館（オンライン併用） 内 容：令和4年度助産師職能委員会活動報告 令和5年度助産師職能委員会活動計画 基調講演 テーマ：折れない心を作る組織環境～働きやすく・活気ある職場環境～ 講 師：Nバク 氏（看護管理職 YouTuber） 2. 保健師助産師看護師職能合同交流会 日 時：令和5年8月26日 13：30～16：30 場 所：兵庫県看護協会会館（オンライン併用） テーマ：苦情・クレーム対応はチームワークだ！～プライベートにも活かせる コミュニケーションスキルアップで苦情やクレームの7割は防げます～ 講 師：Happy-Mc 代表 高山かずえ 氏 参加者：155名（会場60名 オンライン95名） 3. 近畿地区助産師職能合同研修会（京都府看護協会主催） 近畿地区の助産師間の交流を目的とした研修会へ参加 日 時：令和5年12月16日 10：00～12：30 場 所：京都府看護協会（オンライン配信） テーマ：助産師の力が求められているプレコンセプションケアを理解しよう 講 師：順天堂大学保健看護学部看護学科母性看護学 教授 西岡笑子 氏 4. 母子のための地域包括ケアシステムの構築に向けた保健師助産師交流会 日 時：令和6年2月3日 13:30～16:30 場 所：兵庫県看護協会会館 テーマ：もっと知りたい！Face to Face でつながる産後ケア ～お互いの働きを話そう～ 参加者：25名（保健師・助産師・看護師） 5. 兵庫県看護協会が主催する助産師資質向上研修の支援 助産師実践能力向上研修会において、助産師職能委員が講師・アシスタントとして研修に参加し、現状把握・評価につなげる。 6. 会員に向けた教育活動 女性の健康教育支援「更年期についての情報提供」 看護ひょうご・新春号に掲載 7. 産後ケアに関する座談会への協力 看護ひょうご・秋号に掲載
■活動の評価	1. 全世代型地域包括ケアシステム推進に向け多職種連携の構築を図る。（母子のための地域包括ケアシステム推進を含む）。 兵庫県看護協会が主催する助産師資質向上研修の支援として助産師職能委員が講師を務めた。受講生からはシミュレーションを現場で即活用できる内容で満足度の高い研修であった。研修参加者は13人と多くはないが、シミュレーション研修としては効

	果的な人数であったと考えられる。 看護ひょうご秋号の座談会に、「産後ケア事業～安心して産み育てるを支える～」として、子育て支援担当保健師と産後ケアを実施する病院の助産師の連携について話を掲載していただいた。また、看護ひょうご新春号に助産師による女性とその家族への支援の一つとして、「看護職が健康に長く働き続けるために～更年期をうまく乗り切ろう～」を掲載し、会員へ情報提供を行った。 2. 助産師間ならびに他職種との連携を強化する。 保健師助産師看護師合同職能集会では、「折れない心を作る組織環境～働きやすく・活気ある職場環境～」をテーマに YouTuber の N バク 氏に講演していただいた。組織として自己肯定感や自己効力感を高めることへの具体的なアドバイスを受け、風通しのよい職場環境づくりに役立つ機会となった。 三職能合同交流会では、看護師職能Ⅰ主催のテーマ「苦情・クレーム対応はチームワークだ！～プライベートにも活かせるコミュニケーションスキルアップで苦情やクレームの7割は防げます～」のテーマで講義を受け、「苦情とクレームの違い」「医療者としての基本的態度」「具体的事例における対応スキル」を学ぶことができた。 近畿地区助産師職能合同研修会に参加し、順天堂大学の西岡氏から性教育や不妊について講義を受け、その後プレコンセプションケアについてグループワークを行った。 その結果、助産師の役割として周産期の対象者のみならず女性の一生を支えるための知識および技術の向上を図る必要性について共通認識を得た。 母子のための地域包括ケアシステム構築に向けた保健師助産師交流会では、行政・地域と医療機関（大学病院～地域のクリニック）、訪問看護ステーションからの参加者が産後ケア事業について情報共有を図り、ネットワークの強化につながる交流会を実施した。行政からは母子保健の現状と課題について、病院からは実際の産後ケアの導入から現在の状況について事例を用いながら話していただいた。その後、小グループに分かれて、様々な立場からの現状や課題、今後に向けての意見交換を行い、地域・医療機関の看護職から産後ケアがタイムリーに利用できるしくみ、申請方法の統一、医療的ケア児の母親が利用できる産後ケア施設がないなどの課題が明確になった。今後も希望する母親が産後ケアを利用できるように、医療職が連携を強化できるように取り組んでいく。
■今後の課題	・全世代型地域包括ケアシステム推進における産後ケア事業に向けて保健師とのネットワークを強化する。 ・全世代型地域包括ケアシステム推進に関連した助産師の資質向上